

## 透析患者における血清マグネシウム濃度～透析前後の比較

長崎腎病院

○江藤りか 渡部さゆり 小嶺真耶 矢野未来 佐々木修 一ノ瀬浩  
澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司 船越哲

### 【目的】

参加マグネシウム ( $MgO$ ) は効果を得やすい下剤として使用されてきたが、透析患者では高マグネシウム血症を起こす恐れがあるとして注意喚起がされている。 $MgO$  を服用中の当院透析患者において、血清マグネシウム濃度を透析前後で測定し安全性を検討した。

### 【方法】

$MgO$  を服用中の当院透析患者 78 名の透析前後の血清マグネシウム値を測定する。 $MgO$  の平均投与量は 1.2 g であった。

### 【結果】

平均血清マグネシウム値は透析前  $4.3 \pm 1.2 \text{mg/dL}$  から透析後  $2.7 \pm 0.4 \text{mg/dL}$  へ有意に低下した ( $P < 0.05$ )。 $MgO$  投与量と透析前血清マグネシウム値は弱い正の相関があった (相関係数  $r=0.33$ )。透析前血清マグネシウム値と年齢、また  $MgO$  服用歴に相関はなかった。

### 【考察】

今回の調査では、 $MgO$  を投与中の患者で高マグネシウム血症と思われる症状は見られなかった。慎重な適応の選択と定期的な血中濃度のモニタリングにより、 $MgO$  は透析患者でも使用できる可能性がある。